

都市間連携による 低炭素社会の実現に向けて

西三河 5 市連携による首長誓約



2016.10.24
豊田市
Toyota City

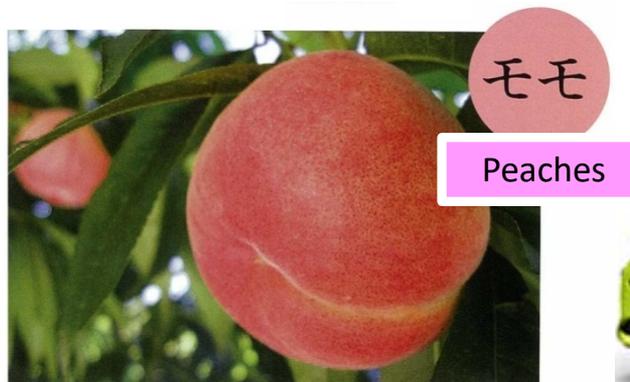
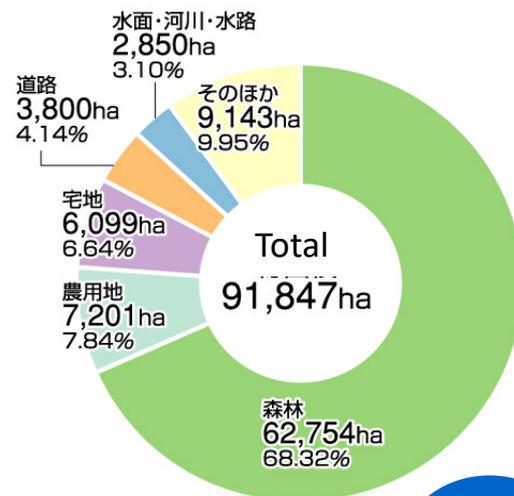
豊田市の位置



- 位置 東経 137° 北緯 35° 愛知県の内陸部 (西三河地域)
- 面積 918 km²

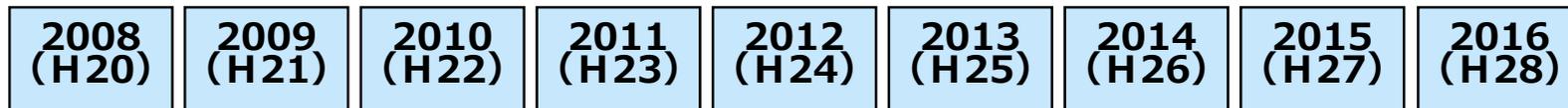
豊田市の紹介

- 【人口・世帯数】 42万人・17万世帯
- 【行政】 中核市
- 【土地利用】 森林が7割
- 【産業・特産品】 桃・梨・茶・自動車
- 【特徴】 産業からのCO₂排出が多い

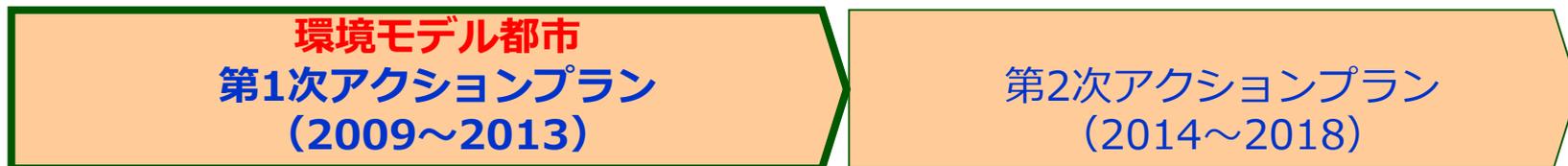




取組の経緯



2009.1月選定



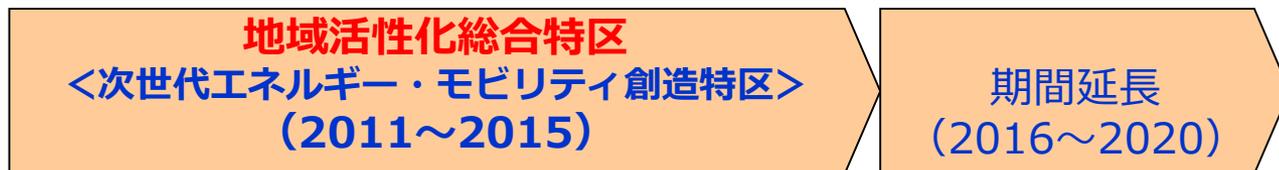
2010.4月選定

官民連携



2011.12月指定

規制緩和
税制・財政措置



2015.12月誓約

都市間連携



環境モデル都市の取組

ハイブリッド・シティ
環境モデル都市 とよた

中期目標：2030年▲30%（チャレンジ：▲50%）
長期目標：2050年▲50%（チャレンジ：▲70%）
基準年：1990年

民生

地球にやさしい暮らしを実現

- ◆スマートハウスの普及促進
- ◆とよたエコポイントによる市民の環境配慮行動促進
- ◆見える化による市民の環境意識の向上

森林

100年先に向けた森づくり

- ◆間伐の実施によるCO₂吸収量の最大化
- ◆地域材の利用促進
- ◆市民啓発活動及び森林環境教育の実施

産業

次世代産業の交流と育成

- ◆環境経営ネットワークの構築による環境経営の普及
- ◆サステイナブル・プラント（環境に配慮した持続可能な工場）への移行推進
- ◆環境・エネルギー産業の育成、誘致

都心

エコフルタウンから広がる夢

- ◆豊田市の取り組みを体感できる「とよたエコフルタウン」
- ◆「人」と「緑」の都心づくり

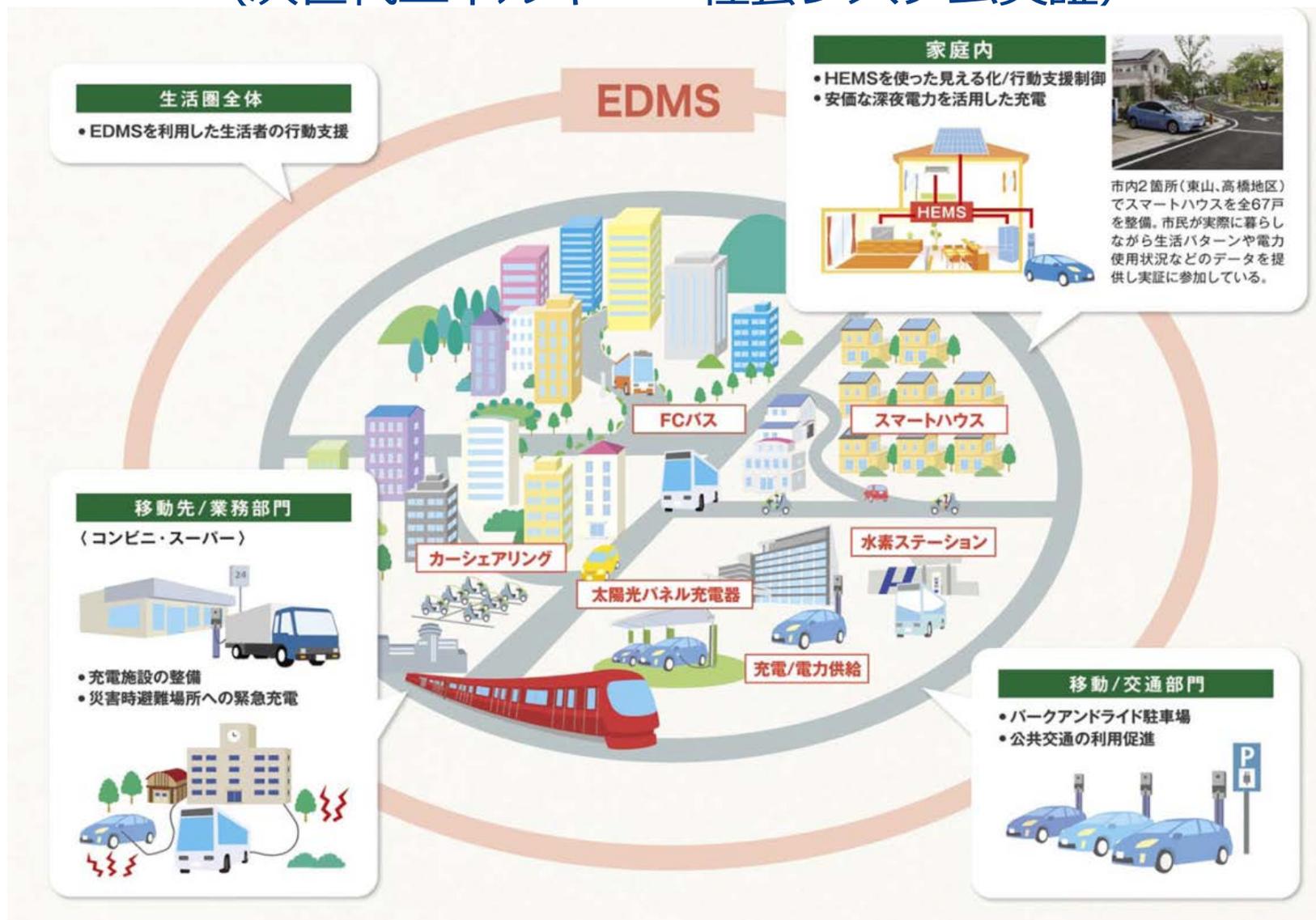
交通

モビリティの未来を築く

- ◆人と環境にやさしい公共交通ネットワークの整備
- ◆インフラ整備も含めた次世代自動車の導入促進
- ◆多様な交通手段による移動の低炭素化

民生・交通部門の取組

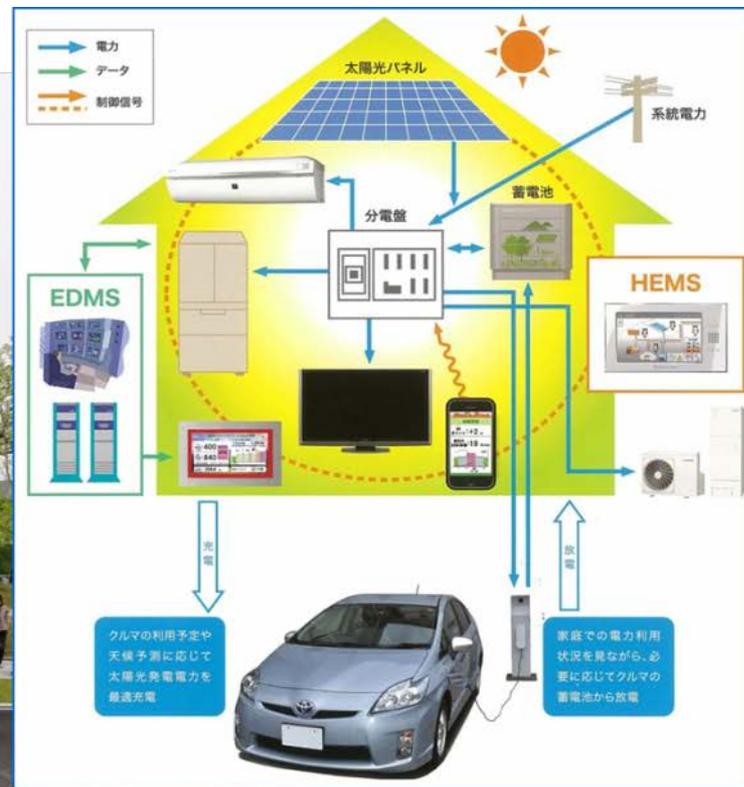
(次世代エネルギー・社会システム実証)



スマートハウスの効果検証（創・蓄・省）



実証住宅団地（東山地区）



市民の実生活の中での実証は全国初

2011. 9～

東山地区 28戸 高橋地区 39戸

目標：住宅単体でCO₂排出量を70%以上削減（2005年比）

スマートハウスの普及促進（支援制度）

補助制度



太陽光発電



蓄電池



燃料電池



H E M S



次世代自動車

とよたエコポイント



商品と交換



農作物・特産品



日用品



環境行動の実践



環境減税

- ① **スマートハウス減税** 建物の固定資産税 1 / 2 減免
- ② **再生可能エネルギー発電設備減税** 設備の固定資産税 1 / 3 減免
- ③ **電気軽自動車減税** 軽自動車税 10 / 10 減免

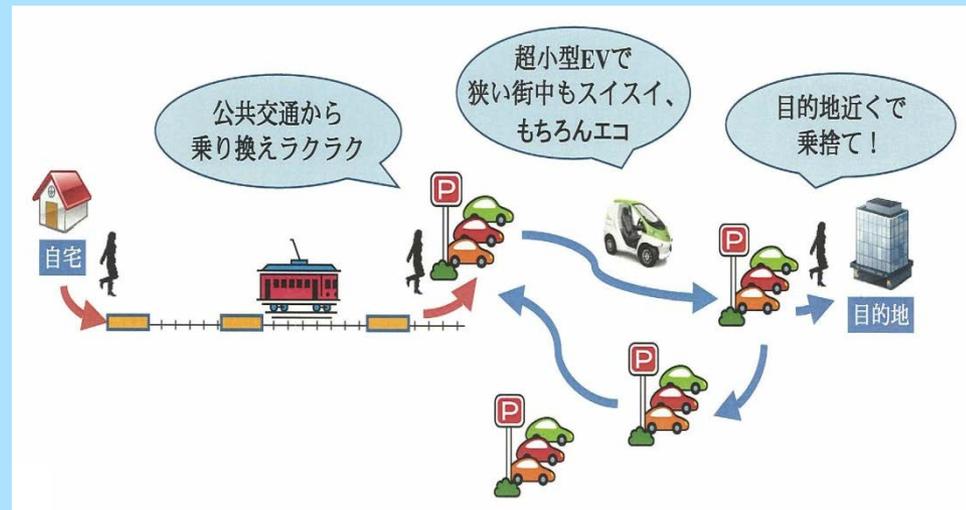


次世代自動車の普及促進



燃料電池バス

Ha:mo RIDE (ハーモライド)

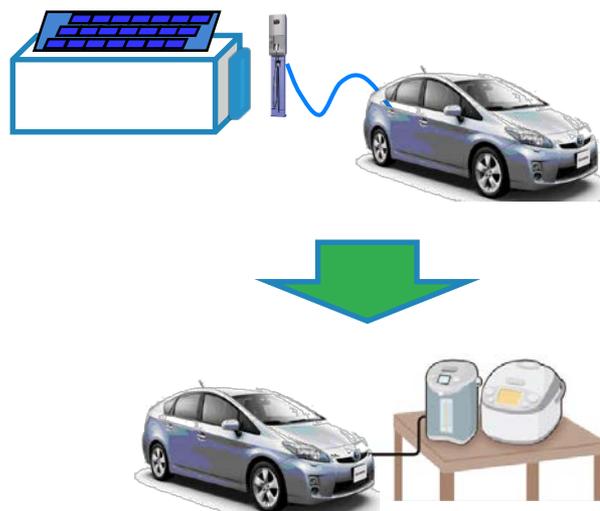


太陽光発電充電施設



とよたSAKURAプロジェクト

災害時や電力ピーク時には、
次世代自動車を“走る発電所”として活用



低炭素な暮らしの情報発信

(低炭素社会モデル地区「とよたエコフルタウン」)



全体面積：約1.55ha 2014年4月全面グランドオープン
これまでに103か国から18万人が見学（2016.3現在）

国内外への情報発信

- 国連共催・環境先進都市国際会議（2015.1豊田市）



- 国連イノベーションフェア・実装フォーラム
 - （2013.7ジュネーヴ）



都市間連携による取組の加速化

日本版「首長誓約」シンポジウムへの参加（2015.1.30名古屋）



- EUの首長誓約を推進する欧州委員会のペドロ・バレステロス氏による基調講演
- 豊田市長もパネリストとして参加
- 中部地方5県の地方自治体の首長及び議員、担当職員、市民、約100名が参加



⇒豊田市長へ首長誓約の打診



日本版「首長誓約」の提案

2030年

欧州の首長誓約がモデル。ECが2008年に立ち上げ、すでに6,700を超える自治体が誓約、約5,100の計画が策定されている。

様々な課題を抱えた地域

現在

日本版「首長誓約」を誓約する

アクションプランを策定する
(誓約後、概ね1年以内)

モニタリングを実施し報告する
(アクションプラン策定後、2年ごと)

地域のエネルギーレジリエンスなどの向上を目指す

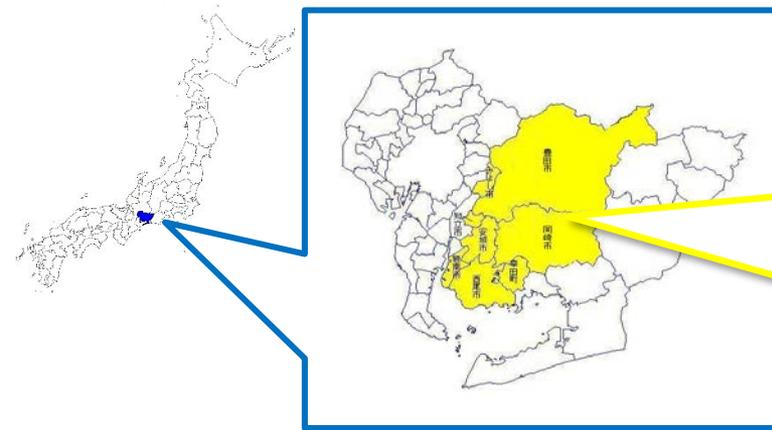
気候変動政策とエネルギー自治を通じ地域創生に貢献する。

日本版「首長誓約」

- 次の項目に一体として取り組むこと
 - ①エネルギー地産地消
 - ②温室効果ガスの大幅削減
 - ③気候変動などへの適応
- ①～③に関する目標(2030年)、具体的な達成方策などに関する持続可能なエネルギーアクションプランを策定すること
- 自治体のネットワークを通じ連携して取り組むこと

西三河9市1町担当者の勉強会

(2015.3~2015.11)



岡崎市、碧南市、
刈谷市、豊田市、
安城市、西尾市、
知立市、高浜市、
みよし市、幸田町

- 市民生活や産業活動に深い関わりのある近隣自治体との連携により、取組の実効性を高める。
- 西三河9市1町の担当者が集まり、2015年3月から、計9回勉強会を開催。西三河地域としての首長誓約参加を検討



写真：西三河地域勉強会の様子
(各自治体持ち回りで実施)

西三河9市1町の首長意見交換会

(2015.10.1)

- 西三河9市1町が連携して首長誓約を行うことについて、首長同士の意見交換会を実施
- 課題として、
 - ・ 取組内容を決める前に、“誓約”することへの抵抗感
 - ・ エネルギー事業参画への懸念などが挙げられた。



写真：首長意見交換会の様子

西三河 5 市連携による首長誓約 (2015.12.12)

西三河 9 市 1 町のうち、準備が整った西三河 5 市(岡崎市、豊田市、安城市、知立市、みよし市)が第 1 号として誓約



写真：西三河5市誓約式の様子 (12月12日、豊田市内)



協議会設立及びアクションプラン検討

- 2016年3月、西三河5市連携の
首長誓約を推進する組織として、
「西三河首長誓約推進協議会」
を設立
- 西三河5市の担当者会議において
持続可能なエネルギーアクシ
ョンプラン策定に向けて協議中
(2016.5～現在)



写真：西三河首長誓約推進協議会設立の様子

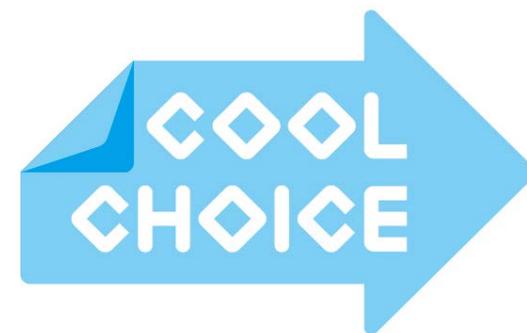
アクションプラン検討状況

- 再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消
- 地域の強みを活かした取組の推進
- 市民力を活かした取組の推進



次世代自動車の普及啓発

(環境に優しく、災害時の非常用電源として役立つ次世代自動車を選択しよう！)



未来のために、いま選ぼう。

豊田市での実施イメージ

- 今年度、環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地方公共団体と連携したCO₂排出削減促進事業）」を活用して、西三河5市連携により、次世代自動車の普及啓発を実施予定